

# 施策分析シート（平成20年度）

No1

<b>施策名</b>	バリアフリー化の推進	<b>施策No</b>	02-09	<b>部課名</b>	福祉部障害者福祉課		
				<b>課長名</b>	小林 清美	<b>内線</b> 2680	
<b>関連部課名</b>	福祉部障害者福祉課・土木部道路課						
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	生涯健康都市[ ]					
	<b>政策</b>	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成[02]					
<b>目的</b>	誰もが安心して生活することができるよう、様々なバリアフリー化を推進し、暮らしやすいまちづくりを行う。						
<b>指標</b>	<b>施策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>					<b>指標に関する説明</b>
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (28年度)	
	歩道再整備率	27	29	31	31	40	歩道再整備延長 / 歩道設置計画延長
	コミュニティバス運賃補助者数	10,789	13,950	14,321	22,078	-	
	エレベーター補助実施数	0	1	0	1	-	整備駅箇所数
	福祉タクシー券交付人数	2,751	2,815	2,841	2,915	-	
<b>現状と課題 (指標分析)</b>	<p>障がい者施策としては、南千住～町屋地域を運行するコミュニティバス「さくら」について、運賃を無料としている。更に、リフト付自動車の利用助成を行うことにより障がい者の交通移動手段の確保を図り、福祉タクシー券を交付し移動費用の助成を行うことで、通院等の利便の向上・生活圏の拡大を図っている。</p> <p>鉄道駅においてエレベーター整備補助を実施し、移動の制約を解消する垂直移動手段の確保を行っている。（平成20年度は京成町屋駅の整備について補助を実施。）</p> <p>道路計画事業として、日暮里中央通りに引き続き、あやめ通りの歩道のバリアフリー化を図る。</p>						
<b>今後の方向性</b>	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>障がい者施策として、障がい者の移動手段を確保するため、コミュニティバスの事業展開に対応していく。また、エレベーター整備補助については、区内各駅の整備状況等の把握に努める。</p> <p>道路計画事業としては、既存歩道の整備を図り、誰にでも使いやすい歩道を整備する。</p> <p>他の施策に含まれる障がい者の様々なバリアフリー（日常生活用具給付やコミュニケーション支援）事業も、障がい者へのバリアフリーの観点から、充実を図る。</p>						

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	区民の誰もが安心して外出できるよう、駅や道路等のバリアフリー化を推進する。

# 施策分析シート（平成20年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		18年度	19年度	前年度 設定	今年度 設定	
福祉タクシー事業	06-05-31	100,113	99,865	継続	推進	不正利用防止策を講じる。
リフト付自動車利用助成 事業	06-05-32	3,586	2,468	継続	継続	現状の規模で実施する。
コミュニティバス障がい 者利用負担助成	06-05-33	1,207	1,241	推進	推進	利便性を向上するように取り組む。
福祉のまちづくり・鉄道 駅エレベーター等整備支 援事業	06-05-56	55,000	0	-	重点的 に推進	エレベーター整備を支援することによりバリアフリー化を推進する。
障がい者情報バリアフ リー化推進事業	06-05-74	259	289	継続	継続	現状の規模で実施する。
あんしん歩行エリア整備 費	10-02-17	66,150	81,690	重点的 に推進	推進	歩行者の安全が確保されるよう 取り組む。
合 計		226,315	185,553			